

## 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 2009年度 ラブ・ローフ募金による活動報告書

対象期間：2008年10月1日～2009年9月30日

募金件数：532件

募金総額：4,803,484円



皆さまのご協力により、アフリカのケニア、ソマリア、ジンバブエなどで、食糧不足に苦しむ人々とくに子どもたちに、多くの支援を届けることができました。支援は、ワールド・ビジョンと、国連世界食糧計画<sup>※</sup>との協力で行いました。感謝とともに、報告いたします。

※国連世界食糧計画(WFP=World Food Program)

国連の食糧支援機関であり、世界最大の人道支援機関です。WFPは、世界のNGO(民間の支援団体)と協力して、多くの活動を行っています。ワールド・ビジョンは、その中でも最も協力活動の多いパートナーです。



### ケニアの食糧問題

ケニアでは、慢性的な干ばつによる水不足、主食であるトウモロコシの大幅な値上がりなどにより、人口約3,750万人のうち約1,000万人が、食糧不足に苦しんでいます。人々は、食事の回数や量を減らさざるをえず、子どもたちや妊娠中の女性たちなど、とくに栄養の必要な人々に悪い影響を与えています。

#### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

とくに食糧が不足している、いくつかの県(タイタ・タベタ県、キリフィ県、ツルカナ県)で食糧配布を行い、約23万人の人々に、支援を届けることができました。

配布の際には、今後の対策にもつながる方法を取りました。食糧を受け取るには、干ばつに備えるためのかんがい設備などを作る工事に参加することを条件としました。これにより、雨が降った際に水を貯める堤防などが作られました。支援をただ受けるだけでなく、自分たちが働いたから食糧が手に入った、という自信につながりました。また、干ばつに強い作物、収穫したものを蓄える方法などを紹介しました。

さらに、労働に参加することがむずかしい人々への支援について、ワールド・ビジョンのスタッフと地域の人々と話し合いを行い、子どもたちや妊娠中の女性だけでなく、障がいを持つ人々、高齢者などに確実に支援が届くように決定、実行しました。



人々が労働に参加して完成した堤防



食糧を受け取る人々

## ★ ソマリアの食糧問題

ソマリアでは、約20年間にわたり、内戦が行われてきました。内戦により土地や施設が利用できなくなり、干ばつの影響も大きく、食糧不足は大きな問題となっています。

食糧が不足すると、もっとも困難な状況に置かれるのが、女性や子どもたちです。約20万人の5歳未満の子どもたちが栄養不良状態となり、そのうち6万人はすぐに医者の治療の必要な状況です。

### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

食糧不足の深刻な中部のいくつかの県で、5歳未満の子どもたちや、妊娠中の女性、また6カ月未満の幼児をもつ母親に、食糧支援を行うとともに、栄養状態の検査を実施しました。

とくに、子どもたちに対しては、「栄養不良、かつ何らかの病気を発症している子ども」、「栄養不良だが、病気にはなっていない子ども」、「軽い栄養不良の子ども」の3つのグループに分け、入院、診察、給食支給など、必要に応じた支援をしました。また、積極的に子どもたちを診察につれ



食糧を受け取る女性たち

てきた親には、1カ月分の食料(大豆、砂糖、食用油)などを支給しました。

支援活動には、地域の人々やグループが、ワールド・ビジョンから食糧配布の方法などを学び、参加しました。支援終了後、支援により栄養状態が回復した子どもたちや女性が、再び健康を損ねることがないように、その地域の人々が見守っていくめどが立ちました。

## 🇿🇼 ジンバブエの食糧問題

ジンバブエは、1980年の独立以来、政治の混乱や干ばつなどのために、世界で最も貧しい人々の暮らす国の1つとなりました。約1,340万人の国民のうち、約510万人が食糧不足に苦しんでいます。またHIV/エイズの流行により、働くことができない人々、親を失った子どもたち、女性が中心となった家族なども多く、これらの立場の弱い人々は、さらに苦しい生活を強いられています。

### ワールド・ビジョン・ジャパンの活動

弱い立場におかれた子どもたちや女性などに、食糧支援を行いました。ワールド・ビジョンとともに、地域の人々も一緒に、誰が一番支援を必要としているかを決め、約30万人の人々に、穀物、豆類、食用油などを届けました。

また、とくに食糧の確保がむずかしい地域に住む小学生の子どもたち、約93,000人の栄養状態を良くするため、86校で給食の支援を行いました。給食は、トウモロコシと大豆を粉末にしたものを食用油で練り合わせたもので、とても栄養の豊かなものです。また、給食の実施により、子どもたちは空腹のまま授業を受けることがなくなり、授業に集中できるようになりました。



食糧支援を受けた子どもたち



給食の支援を受けた少女たち

ありがとうございました!

お問合せ先

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-3F

TEL:03-3367-7621 ※受付時間 9:30-19:00(月~金) FAX:03-3367-7652

E-mail: [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp) <http://www.worldvision.jp>

**World Vision**  
この子を救う。未来を救う。